

第 1 回 東京2025デフリンピック開閉会式検討部会 演出委員会

東京2025デフリンピック大会概要

大会概要

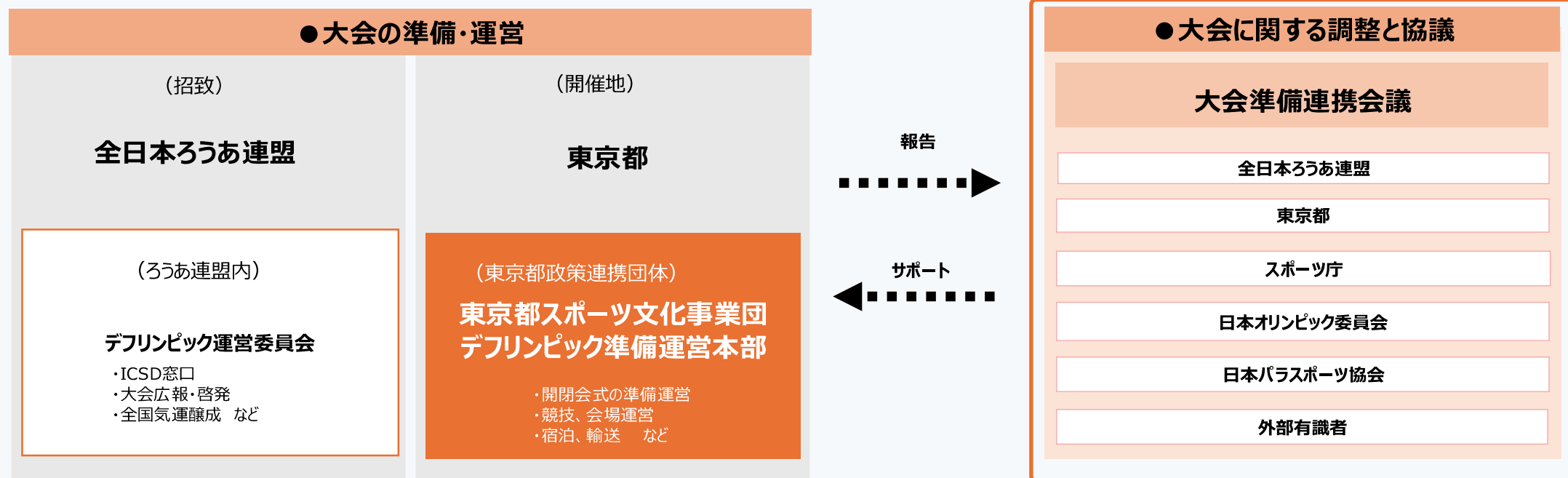
正式名称	第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025
	(略称) 東京2025デフリンピック
期間	2025年11月15日～26日 (12日間)
参加国	70～80か国・地域
参加者数	各国選手団等：約6,000人 (選手約3千人、 ICSD役員・SD・審判・スタッフ約3千人)

競技会場等

	競技名	会場
1	陸上	駒沢オリンピック公園総合運動場 陸上競技場 等
2	バドミントン	武蔵野の森総合スポーツプラザ
3	バスケットボール	大田区総合体育館
4	ビーチバレーボール	大森東水辺スポーツ広場
5	ボウリング	東大和グラウンドボウル
6	自転車(ロード)	日本サイクルスポーツセンター
7	自転車(MTB)	日本サイクルスポーツセンター
8	サッカー	Jヴィレッジ
9	ゴルフ	若洲ゴルフリンクス
10	ハンドボール	駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内球技場
11	柔道	東京武道館
12	空手	東京武道館
13	オリエンテーリング	日比谷公園、伊豆大島
14	射撃	味の素ナショナルトレーニングセン ター ・イースト
15	水泳	東京アクアティクスセンター
16	卓球	東京体育館
17	テコンドー	中野区立総合体育館
18	テニス	有明テニスの森
19	バレーボール	駒沢オリンピック公園総合運動場 体育館
20	レスリング (フリースタイル)	府中市立総合体育館
21	レスリング (グレコローマン)	府中市立総合体育館

東京2025デフリンピック 大会運営体制

- 東京2025デフリンピックは、全日本ろうあ連盟が、国際ろう者スポーツ委員会（ICSD）に対し招致活動を行い、東京での開催が決定しています。
- この東京招致を受けて、東京都は全日本ろうあ連盟を支援することを表明し、現在、国を含めた関係機関が連携し準備を進めています。東京都スポーツ文化事業団は、東京都の政策連携団体として、競技や会場運営、選手の宿泊や輸送等の準備と運営を担っています。
- なお、本大会は、政府として協力する旨、閣議で了解されています。



東京2025デフリンピック 大会ビジョン

1

デフスポーツの
魅力や価値を伝え
人々や社会とつなぐ

2

世界に、
そして未来に
つながる大会へ

3

“誰もが個性を活かし
力を発揮できる”
共生社会の実現

- デフアスリートを主役に、最高のパフォーマンスを発揮できるよう大会準備を進め、その姿を通じて、本来、スポーツが持っている素晴らしさとともに、デフリンピックやデフスポーツの魅力や価値を発信し、普及・啓発に努める
- また、あらゆる人が協働した大会運営や子どもたちの参画など、多様な視点を大切にしたい大会運営をめざす

- 大会開催を機に、デフリンピック・ムーブメントとして、デフスポーツやろう者の文化への理解を促進し、障害のある人となない人とのコミュニケーションや心・情報・街のバリアフリーをさらに推進する。
- このムーブメントを通して、互いの違いを認め、尊重しあい、誰もが個性を活かし力を発揮できる共生社会づくりに貢献する

- 大会を通じた手話言語の理解・普及・拡大など従来からの情報保障の推進・強化に加え、デジタル技術を活用した、新しいコミュニケーションツール等の開発、社会への普及を促進する。
- このような取組を通して、国籍や障害のあるなしに関わらず、誰もが心を通わせることのできる街・東京の魅力を感じてもらい、世界との絆を深めていく

東京2025デフリンピック 開閉会式（概要）

東京2025デフリンピックの開閉会式は、国際ろう者スポーツ委員会（ICSD）のプロトコール規約に定められた式典構成に則り、以下の基本構成とする。各項目の所要時間及び内容詳細等については、今後検討を進める。

開会式

【会場】 東京体育館

【日時】 令和7(2025)年11月15日（土）
16時30分～19時（予定）

【次第】	次 第	所要時間 （想定）
	開会	10分
	選手団入場行進（70～80カ国・地域）	60分
	開会スピーチ	20分
	開会宣言	
	ICSD旗入場/掲揚	15分
	聖火ランナー入場/聖火点火	
	選手/役員宣誓	10分
	国旗掲揚/国歌演奏	
	アーティスティックプログラム	30分
	閉会	5分
		計150分

閉会式

【会場】 東京体育館

【日時】 令和7(2025)年11月26日（水）
16時30分～18時（予定）

【次第】	次 第	所要時間 （想定）
	開会	5分
	選手団入場行進（70～80カ国・地域）	40分
	閉会スピーチ	20分
	閉会宣言	
	ICSD旗及び国旗降納	10分
	聖火納火	
	ICSD旗返還	
	アーティスティックプログラム	10分
	閉会	5分
		計90分

東京体育館（開閉会式会場・卓球競技会場）

開会式：令和7年11月15日
閉会式：令和7年11月26日

会場借用期間
令和7年11月11日～27日

所在：渋谷区千駄ヶ谷1-17-1
競技フロア3,220m²
（床面：木製フローリング）
天井高27m
観覧席 最大9,308席
（固定席5,178席）
（車椅子席130席）
（仮設席4,000席）

近年行われた国際スポーツ大会

- ・ リオオリンピック
- ・ バレーボール世界最終予選兼アジア大陸予選
- ・ 世界体操競技選手権
- ・ 世界フィギュアスケート選手権
- ・ グランドスラム東京国際柔道
- ・ ヨネックスオープンジャパン バドミントン
- ・ BWFスーパーシリーズ
- ・ 全世界空手道選手権大会



アーティスティックプログラムの柱・演出

プログラムの柱

大会ビジョン・開催基本計画

デフスポーツの魅力や価値を伝え人々や社会をつなぐ
世界に、そして未来につながる大会へ
“誰もが個性を活かし力を発揮できる”**共生社会**の実現

ろう文化を発信

- 日本のろう者文化及びデフスポーツの理解を促進する
- デフリンピックの魅力や価値を発信する

東京らしさを発信

- 東京の持つ魅力を発信する
- 芸術文化など東京の持つ魅力を感じてもらい
世界との絆を深めていく

共生社会を推進

- 年齢・国籍・障害のあるなしなどにかかわらず、
すべての人とのコミュニケーションを促進する
- 互いの違いを認め、尊重しあい、誰もが個性を
活かし、力を発揮できる共生社会を実現していく

3
本
の
柱

演出のポイント

【演目】

ダンスや伝統舞踊
などろう者も聴者
も誰もが内容が理
解しやすいもの

【出演者】

ろう者、子ども、
現地ゆかりの人々
など**多様な主体の
参画**

【表現方法】

誰もが楽しめるよ
う**視覚と聴覚**に届
くもの。振動など
触覚表現も活用

【一体感】

ライトや観客のダ
ンス参加・交流な
ど**双方向のコミュ
ニケーション**

+

【情報保障】

手話（日本・国際）、字幕（日
英）への対応

東京2025デフリンピック開閉会式検討部会 演出委員会について

概要

- 東京2025デフリンピックの開閉会式の準備運営を通じて、きこえない人やきこえにくい人が主体となって「誰もが楽しめるアーティスティックプログラム」を考え作り上げていく。
- 外部の専門委員を招聘した東京2025デフリンピック開閉会式検討部会を設置し、開閉会式の方角性について検討
- 演出経験者を取り込んだ演出委員会を設置し、具体的な演出規模について検討

東京2025開閉会式検討部会

【 全日本ろうあ連盟 】 久松 三二
【 東京都 】 清水 俊二郎
【東京都スポーツ文化事業団】 小澤 洋之

専門委員
大杉 豊氏
高萩 宏氏

全体の方向性を提示

演出方針等を報告

きこえない人、聞こえにくい人の視点に立つ演出家と
きこえる人の視点に立つ演出家が 連携した演出委員会

近藤 良平氏
大橋 弘枝氏

倉野 直紀（ろうあ連盟）
濱野 正子（東京都）
鈴木 倫之（事業団）

【内容】演出規模に関する検討、演出内容の検討

R6
年度

R7
年度

開閉会式準備運営業務受託者

委託者が指定する演出家チームとして
受託者側に参画

今後のスケジュール（案）

11月

- 東京2025デフリンピック開閉会式検討部会（第1回）設置
 - ・ 演出委員会の設置

本日

- 東京2025デフリンピック開閉会式検討部会演出委員会（第1回）
 - ・ 演出委員会リーダーの推薦
 - ・ 演出の詳細検討

12/2~
13

- 東京2025デフリンピック開閉会式検討部会演出委員会（第2回）
 - ・ 演出の詳細検討（デフアスリート対談など）

12/16~
26

- 東京2025デフリンピック開閉会式検討部会
 - ・ 演出の詳細検討（報告）

12月中

- 仕様書の確定

3月

- 製作事業者選定

4月

- 製作開始

【演出委員会】

製作に向けた準備を継続